



がるがも



第49号

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kodomo>

2018年〈平成30年〉11月

秋を迎えて

今年も猛暑、台風、局所的豪雨の夏でした。開院して30年を迎えた当院では、一部の病棟の空調設備の故障や外来エリア天井のガラスのひび割れで、患者さんの病室移動や緊急の修理が必要でしたが、幸い大きな被害はありませんでした。また、9月には北海道で大きな地震があり、電力供給ストップが大きな話題となりました。当院は2011年の東日本大震災後に建物の安全性の点検を行い、また、自家発電、自家地下水採取の設備を備えています。しかし、今後30年以内に関東地方で大地震が起こる可能性は90%、千葉市の震度が6弱以上となる可能性は85%とされています。当院は災害拠点病院ではありませんが、県からの指示もあり、災害が発生した場合に備えて事業継続計画（BCP）を整備することと致しました。

9月には、平成29年度の千葉県病院事業会計の決算の概要が公表されました。県立病院全体の収益は436億、費用は451億であり、赤字幅は減少したものの14億の赤字でした。一方、こども病院の収益は98億、費用は94億であり3億9千万の黒字でした。し

病院長 星岡 明



かし、一般会計から多額の繰入金をいただいています。経営健全化にむけ、専門病院としての質の高い医療、患者さんそして地域の医療機関の皆様の期待に応える医療を、これまでも増して効率的に提供してまいります。

なお、10月の人事異動で、アレルギー・膠原病科の冨板美奈子部長が独立行政法人国立病院機構下志津病院に転出となり、東千葉メディカルセンターから井上祐三朗医師を迎えました。これにより、アレルギー・膠原病科は、山出晶子部長、井上祐三朗主任医長、山本健医員の体制となりました。井上医師も冨板元部長と同様にリウマチ指導医、アレルギー指導医の資格を有しており、また免疫不全症、自己炎症疾患に関する経験も豊富です。これまでも増して、アレルギー、リウマチ・膠原病、そして免疫疾患患者のご紹介をよろしくお願いいたします。

平成30年11月

平成30年度 外来診療日程表

平成30年11月1日現在

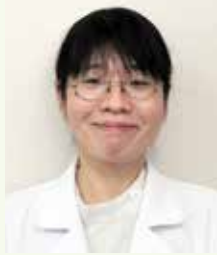
| 診療科名 | 月 | | 火 | | 水 | | 木 | | 金 | |
|------------|-----------------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------|--------------------------------------|---------------------------------|---------------------|---------------------|----------------------|--------------------------------|
| | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 |
| 小児救急総合診療科 | 倉繁 酒井 | 倉繁 酒井 | 高柳 酒井 | 酒井 | 倉繁 | 倉繁 | 倉繁 酒井 | 倉繁 酒井 | 倉繁 酒井 | 倉繁 酒井 |
| 感染症科 | 星野 | 予防接種外来 | | | 深沢 | 星野 | | | 深沢 | 再来 |
| 内分泌科 | 數川(森) 木原 | 數川(森) 木原 | 島崎 森 | 島崎 森 | 皆川 木原 | 皆川 木原 | 皆川 木原 | 森 島崎 | 島崎 森 | 島崎 森 |
| 代謝科 | 村山 松永 市本 | 村山 松永 市本 | | | | | 村山 松永 市本 | 村山 志村 松永 市本 | | 村山 (在宅呼吸器外来) 志村 松永 市本 |
| 血液・腫瘍科 | | | 角田 落合 種山 安藤 沖本 | 角田 落合 種山 安藤 沖本 | | 自己血外来 | | | 角田 落合 種山 安藤 沖本 | 角田 落合 種山 安藤 沖本 |
| 遺伝科 | | 朽方 | | | | | 朽方 羽田(第2,4週) | 朽方 羽田(第2,4週) | 朽方 | |
| 新生児・未熟児科 | | | | | 鶴岡 磯崎 | | 鶴岡 磯崎 | | | |
| 腎臓科 | 久野 (腹膜透析外来) | 久野 (腹膜透析外来) | 久野 | 久野 | | | 久野 | 久野 | | |
| アレルギー・膠原病科 | 井上 山本 | 新患外来 | 井上 | 山出 富板 | 山本 山出 | 新患外来(山本) 秋葉 | 山出 | 新患外来(井上) 山本 | 星岡(隔週) 大学医師 | 井上 |
| 循環器内科 | | 胎児エコー外来 (石井) | 中島 東 石井 | 東 梶川 白石 | 東 中島 石井 | | 村上 東 白石 梶川 | 中島 東 石井 | | |
| 神経内科 | | 小俣 青山 児玉 渡辺 | | | 小俣 児玉 藤井(1,3,5週) | 小俣 青山 渡辺 田辺(1週) 本島(1週) | | | 小俣 渡辺 | 小俣 青山 児玉 |
| 精神科 | 安藤 | 安藤 | 久能 | 久能 | 富田 関 | 富田 | 安藤 橘 | 安藤 焼田 | 富田 河岸 | 富田 河岸 |
| 小児外科 | 岩井 光永 大野 | | 岩井 光永 | 岩井 光永 | | | 岩井 光永 | 光永 大野 | | |
| 整形外科 | 西須 柿崎 及川 橘田 弓手 目時 瀬川(不定) | 佐久間(第3・側弯) 籠崎(第4・腫瘍) | 西須 柿崎 及川 橘田 弓手 目時 | 柿崎 及川 橘田 弓手 目時 | 西須 柿崎 及川 橘田 弓手 目時 松浦(第3手の外) | 井上(第1・側弯) | | | | |
| 脳神経外科 | 安藤 | 安藤 | 沼田 | 沼田 | | | | | 沼田 | 沼田 |
| 眼科 | 平野 齋藤 千葉大医師 | | | 平野 齋藤 | 平野 齋藤 千葉大医師 | | 平野 齋藤 | | 平野 齋藤 | |
| 耳鼻咽喉科 | 仲野 有本 舩越 | 仲野 有本 (難聴外来) | | | 仲野 有本 舩越 | 有本 舩越 今本(仲野) | | | 仲野 有本 舩越 | |
| 形成外科 | 鈴木 石垣 上塘 処置外来 | 鈴木 石垣 上塘 処置外来 | | | | | 鈴木 石垣 上塘 処置外来 | 鈴木 石垣 上塘 処置外来 | | |
| 泌尿器科 | | | 長 本間 | 本間 松野 | | 本間 松野 | 長 本間 | 本間 松野 | | |
| 心臓血管外科 | | | | | 青木 萩野 齋藤 梅津 | | | | | |
| 歯科 | 渡邊 | 渡邊 | 渡邊 | 渡邊 | 渡邊 | 渡邊 | 渡邊 | 渡邊 | 渡邊 | 渡邊 |
| 皮膚科 | | 松澤 | | | | | | | | 松岡 (14:00~16:00) |
| 産科 | | 非常勤(不定期) | | | | | 非常勤(不定期) | | | |

※当院は予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をお取りください。

初めての受診の場合は、医療機関からの紹介状が必要となります。なお、曜日ごとに診療科が異なります。

診療科紹介
小児救急
総合診療科

主任医長
倉繁 款子



救急総合診療科では、8月より伊藤絢先生が育児短時間勤務で復帰しました。

現在、医師3名（倉繁款子、酒井敦、伊藤絢）および1か月毎にローテートしてくる初期研修医と毎週火曜日に高柳前副院長の協力を得て、診療を行っています。

当科ではご紹介いただきましたお子さんを中心に診察、入院担当を行っております。

上記に加えて、当科では今年度から小児外科の協力を得て、全身麻酔下で上下部内視鏡およびカプセル（CP）内視鏡を施行しております。腹痛は、不定愁訴として扱われることが多く、実際心因性であることも多いですが、内視鏡検査を行ってみると炎症性腸

疾患（IBD）が見つかることもあります。また好酸球性胃腸炎・食道炎などは、診断のために内視鏡が大変有用となります。必要であれば、CP内視鏡を使用し小腸を確認することができます。CP内視鏡の大きさは26.4×11.4mm程度で、基本的には内服しますが、CPが内服できないお子様などは上下部内視鏡で麻酔を行いますので、その際に上部内視鏡で胃内へ留置することも可能です。

原因不明の腹痛・発熱が持続するお子さんや繰り返すお子さんについては一度精査の適応になるのではないかと思います。今までは超音波検査および腹部CTなどが主流で、なかなか腸管を実際にみるということは難しかったのですが、今後は小児の内視鏡についても積極的に検査を行っていきたいと思っています。器質的疾患を除外できることにより、ご本人およびご家族の不安も軽減されることが多いです。腹痛精査を望まれる症例がありましたら是非ご紹介いただければと存じます。その他、どの科に紹介したらよいかわからない場合などの窓口となっておりますので、どうぞお気軽にご相談ください。

診療科紹介
歯科

部長
渡邊 俊英



当科は、全身的な疾患や心身に障害をもつこども達のお口の健康を育成し、守る診療科です。口腔の疾患には、むし歯、歯肉炎や口腔粘膜の病気、過剰な歯の埋伏なども含む抜歯や顎の中の病気、摂食機能の障害などがあります。幼児期から学童期にかけては成長発育が盛んな時期です。食物をよく噛むことにより栄養を十分に摂取できるようになり、口の周り、顎の周りの筋肉の発育を促し、全身の健康を作っていきます。また、乳歯の萌出により正しい舌の位置を覚え上手に発音・構音できるようになります。萌出した乳歯は後継する永久歯を正しい位置に萌出できるよう誘導してくれます。このような大切な時期における口腔疾患の治療は、全身疾患や障害を

もつお子さまが乗り越えるには大きなハードルになることが多く、治療に際して特別な配慮が必要になります。当科では、こども達の心身の状態に応じて、多くの診療科と連携しながら、治療に取り組んでいます。外来診療では、病気や障害を持ったこども達の口腔疾患の治療が中心となります。むし歯や歯肉炎の治療や予防が多いですが、他にも様々な疾患に対応しています。唇顎口蓋裂のこども達には他科の先生たちと口蓋裂治療チームを作り、口蓋床の製作なども行っています。転倒転落などによる口腔の外傷や、顎骨あるいは軟部組織に生じた嚢胞や腫瘍といった口腔外科疾患にも対応しています。また、外来通院での治療が困難な病気や心身に障害をもつなどさまざまな理由から通常の歯科治療が受けられないお子さまに対しては、全身麻酔下での集中歯科治療をおこないます。入院中のこども達の口腔ケアも行っておりますのでお気軽に声をかけていただければと思います。よろしく願いいたします。



〈千葉県こども病院 登録医のご紹介〉

医療法人社団双に会 **花城医院**

〒289-1527 千葉県山武市松尾町大堤136-3
TEL 0479-86-2233 FAX 0479-80-7231

山武市で内科医の夫と内科小児科医院を開業しております。小児科担当医の花城恵美子です。山武市は千葉と銚子を結ぶ国道126号線の丁度真ん中あたり、千葉市街から30～40kmの距離にあります。千葉県こども病院までは少々遠いのですが、専門性の高い疾患では患者様からの要望も多く、いつも大変お世話になっております。

当院小児科は、健診や予防接種、一般的な急性感染症などの診療を行っています。特別な専門性はありませんが、来院された患者様にはなるべくゆったりとした気持ちで診察を受けて頂けるよう、患者様の気持ちに寄り添う対応を、スタッフ一同心がけています。

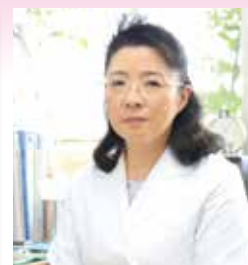
開業20年になりますが、当初小児科に受診されていた患者様がやがて高校生になり内科へ、さらにお父さんお母さんとしてお子さんを連れてまた小児科へ、という光景が見られるようになりました。この20年間を振り返っても、医学の進歩、医療の変化には著しいものがあります。

診療時間

午前8時～12時
午後2時～6時

休診日

日曜日・祝祭日・木曜日
土曜日午後



花城恵美子医師

常に新しい情報、正しい情報を患者様にお伝えできるよう、勉強を続けていきたいと思っております。

また、夫は特別養護老人ホームの、私は介護老人保健施設の理事長でもあり、老人医療、福祉にも関わっています。健やかな小児期から豊かな老年期へと、地域の皆様が健康で安心して生活できるようお手伝いできればと思っております。



小児科個室



外観

千葉東こどもクリニック

〒299-3251 千葉県大網白里市大網13-4
TEL 0475-73-8780

いつも大変お世話になっております。

千葉東こどもクリニック院長の松崎です。大網にて開業しており、なるべく多くの時間を患者さんに接することを心にとめ、日々、精進しております。

当院のある大網は、若い人々の人口が多く、大網白里市もそれを奨励する努力がみられ、難しい患者さんも多く思われ、こども病院には、いつも大変助けられており、感謝と心強い安心感に包まれております。

当院は、働いているお母さんなどが、お子さんを自らともなって様子や病状を知りたいとされる時間帯を考慮して、診察時間帯を設けております。旅行による患者さんの受診も多いようです。また、この地域の小児科受診は、休診日がないように現在の所なっており、大変有難いことです。

小児科の患者さんは、休みなくイタズラをみつける、騒ぐなど、医師は精神的疲労が重なることも多く、休息

診療時間

(月・火・水・木)
8時30分～12時30分
14時30分～20時
(土・日・祝)
9時～12時30分

休診日

金曜、土・日・祝の午後



松崎真由美 院長

の特別な期間を、定期的に持つことが重要であると思っております。その方が、長く社会に役立てられるかもしれません。とはいえ、小児科の待合室を見渡せば、結婚、子供が誕生し・・・という、人生で1番かもしれない時期の御両親や祖父母に囲まれた子供達、幸福さ、あたたかさをみるにつけ、小児科医になって、本当に良かったと感じています。医院や病院を明るく新鮮なものにしているのは、子供達の存在だと本当に思います。



外観